

研究発表題名, 組織, 情報, その他

昭和43年度研究発表題名一覧表

経営部門

著者名	題名	書名	巻号,頁	年月
江畑奈良男	これからの林業経営	日本林業経営者協会月報	80	1968. 5
久田喜二	森林組合の事業と最小森林面積について	日本林学会関西支部講	18 p.202	1968.10
〃	労務者とともに歩む石原林材一従業員持株制をねらって	林業新知識	180 p.12	1968.11
〃	経営を集約林業にかける—全山300ヘクタールの肥培管理	〃	181 p.10	1968.12

造林部門

福植松小山藤山松島早稲田	雄次安一人郎雄安子収	岡山県玉野地方におけるアカシア属造林試験の経過報告	林業試験場研究報告	111 p.133	1968. 3
田村家森本田村	秀誠宗忠隆久仁雄宗秀	スギとヒノキの枝の生長について	日本林学会関西支部講	18 p.210	1968.10
松島	田村	ヤマモモの発芽について	〃	18 p.1	1968.10
早稲田	収	壮令林の雪害とその対策	林業技術	323 p.11	1969. 2

土壌部門

河衣田笠	弘司	スギ幼令林施肥試験（兵庫県山崎営林署管内マンガ谷国有林）—関西地方における林地肥培試験第2報	林業試験場研究報告	216 p.75	1968. 7
河衣田笠	弘司	クロマツ幼令林施肥試験	日本林学会講	79 p.328	1968.11
河田	弘	C-Nコードによる炭素および窒素の同時定量について	〃	79 p.276	1968.11
河衣田笠	弘司	広島県姥ヶ原国有林におけるクロマツ幼令林施肥試験—関西地方における林地施肥試験第3報	林業試験場研究報告	219 p.121	1969. 2
吉西岡田	二豊郎昭	土地分類基本調査（防府）図幅土壌調査	国土調査		1969. 3

防災部門

白井竹遠山松遠阿白山路木J. SHIRAI et al	純郎幸一郎治忠曾男安郎夫純郎曾男	去川森林理水試験第4回報告—去川試験地の流量, 消失水量, 保留量について	林業試験場研究報告	216 p.127	1968. 7
藤林	治忠	不織マットによるのり面初期荒廃の防止	日本林学会関西支部講	18 p.265	1968.10
山路	曾男	二, 三の植物の葉の含水率の日変化と流域水位の日変化との関係について	〃	18 p.54	1968.10
山路	曾男	森林理水試験とビックサイエンス	林業試験場報	48 p.2	1968. 7
山路	曾男	玉野試験地山火事のこと	〃	50 p.5	1968. 9
J. SHIRAI et al		Experiments on the Water Conservative Function at Tatsunokuchiyama	Bibliography of Floods and their Computation in Japan.	p.63	1968. 7

保 護 部 門

寺 下 隆喜代	A new species of Calonectria and its conidial state	日本菌学会誌	8・3 p.124	1968. 1
〃	外觀正常なアカマツの根の組織から検出される糸状菌	日本林学会講	79 p.282	1968. 4
小 林 富士雄	スギハダニの個体数調査法としての液浸法	森林防疫ニュース	16・4 p.71	1968. 4
竹 谷 昭彦	マツを加害するシラホシゾウ属3種について	日本林学会講	79 p.206	1968. 4
小 林 富士雄	—その発消長—			
〃	マツの穿孔虫類の樹体内分布 —シラホシゾウ属とクロキボシゾウムシー	〃	79 p.207	1968. 4
伊 藤 武 夫	中国山系の野ねずみ異状発生 (1967)	〃	79 p.240	1968. 4
寺 下 隆喜代	日本で知られている <i>Cylindrocladium</i> 属菌	日本菌学会講	12 p.11	1968. 5
峰尾 一彦 外	関西地方の林業苗畑から検出されたネグサレセンチュウの種類について	日本林学会関西支部講	18 p.185	1968.10
小 林 富士雄	松の穿孔虫による加害と樹脂流出(I)	〃	18 p.172	1968.10
奥 田 素男				
竹 谷 昭彦	フェニックス眼点病について	〃	18 p.182	1968.10
伊 藤 武 夫				

昭和43年度特別、特掲別研究項目一覧表

特 別 研 究

- まつくいむしによるマツ類の枯損防止
- 大気汚染による農林作物被害の測定方法

特 掲 研 究

(一般会計)

- 林地除草剤の森林植生、土壌および土壌微小生物に及ぼす影響
- 合理的短期育成林業技術の確立
- マツ類穿孔性害虫防除
- 材質育種

(特別会計)

- 国有林の土壌調査
- 寒害防止
- 国有林苗畑における土壌線虫実態調査と防除
- 特定地点における野鼠発生予察
- 林地肥培試験
- 採種圃における害虫防除

鑑定診断ならびに防除対策研究指導

従来から病虫害害ならびに林木の生理的、気象的な障害による鑑定診断および防除対策について指導依頼を林業関係各種団体ならびに林業家からうけているが昭和43年度も各研究室共同のもとに、鑑定診断を行な

った。今年度取りあつかった総件数は、132件で、その内容は次のとおりである。

(昭43.4～昭44.3)

1. 病害関係

機関別	件数	点数
国有林関係	8	11
民有林関係	27	33
計	35	44
区分別	件数	点数
苗木の病害	14	18
林木の病害	17	22
その他	4	4
樹種別	件数	点数
スギ	12	15
マツ	10	10
ヒノキ	6	9
クリ	3	6
その他	4	4

2. 虫害関係

機関別	件数
国有林関係	12
府県関係	46
他省庁関係	9
会社、個人、社寺	14
計	81

樹種別

マツ 35, スギ 10, ヒノキ 2, クリ 5, サクラ 5, タケ 2
シイタケ 2, 建築材 4, その他 16

虫別

松くい虫 17, その他穿孔虫 12, 松のしんくい虫 2, タマバエ 7, カイガラムシ 14,
ダニ 4, 天敵昆虫 2, その他 21, 不明 2

○本年の傾向

松くい虫、その他穿孔虫が多いことは例年通りである。本年とくに増加したのはマツ、スギのカイガラムシの同定および防除である。このほか例年にないものとしては、サクラの食葉蛾類、建築材の穿孔虫があげられる。

3. 獣害関係

機関別	件数
国有林関係	3

府 県 関 係	4
会 社 関 係	2
計	9
樹 種 別	
ヒノキ 4, スギ 3, アカマツ 2	
獣 別	
ノネズミ 6, シカ 2, サル 1	

4. 植栽その他技術関係

機 関 別	件数
国 有 林 関 係	3
民 有 林 関 係	4
計	7

情 報

1. 業 務 報 告

昭和43年5月7日～11日の間当場の業務報告会がひらかれ経営、土壌、造林、防災、昆虫、樹病の各研究室ごとに各研究テーマと共同研究項目について、42年度の試験研究経過および成果と、今後の研究計画等について活発な質疑応答が行なわれた。

2. 林業試験研究推進近畿・中国ブロック協議会など

昭和43年11月26日、当支場において林野庁、大阪管林局、関西林木育種場、同山陰支場、管内府県林務行政機関、おなじく研究機関、および京都大学、京都府美山町森林組合、住友林業・林業技術研究室それに当支場などの機関の長および担当係官の出席をえて開催した。

まず、あいさつ経過報告にひきつづいて議題にはいった。

本年度の議題については、当ブロック内の林業が当面する林政上の問題点として労務事情の悪化をあげ、これは各府県、国有林とも共通的に事業推進上深刻な問題であり、この対策について試験研究側に要請する点が多いことから、「最近の林業労働の悪化にともなう今後の技術開発の進め方について」という議題を中心に協議がおこなわれた。この協議の結果は、中央協議会および林野庁に提案、要請事項にとりまとめそれぞれに送付した。

なお関西地区林業試験研究機関連絡協議会が昭和43年10月21日、高知市において第20回の協議会が開催された。

その内容は ①この一年間の共同研究活動の経過と今後の計画、②本年度メニュー課題のとりあつかいについて、③その他について活発な意見の交換があった。

3. 講演等の依頼について

昭和43年10月11日～12日 久田 喜二

兵庫県北播林業振興協会の依頼により「これからの林業経営」について講演

昭和43年10月16日～19日 紺谷 修治

富山県庁の依頼により「くりの枯死病」について現地調査ならびに講演

昭和43年3月24日 久田 喜二

滋賀県庁の依頼により「林業経営のあり方」について講演

4. 技術研修受入れ

氏名	所属機関	研修期間	研修内容
天 野 孝 之	奈良県林業指導所	43. 6. 1～ 9. 30	樹木病害に関する研修
竹 下 努	鳥取県林業試験場	43. 8. 26～ 9. 25	樹病診断法の基礎研修
西 村 澄 男	滋賀県林業指導所	44. 2. 1～ 2. 28	樹木の生理に関係ある土壌の理学的分析方法の研修
文 準	韓国農村振興庁	43.10.1～44.1.31	森林土壌の調査

5. 昭和43年度林業専門技術員研修

林野庁の委託をうけて、6か月間当支場において、それぞれの専門分野について、必要な知識と技術向上のため研修した。

氏名	所属機関	研修期間	研修内容
羽 田 三 男	岡山県林業試験場	43. 8. 1～44. 1. 31	すぎ、ひのきみしよ 山行苗の形質と量的表示に関する研修
清 水 昭	島根県農林部林政課	43.10. 1～44. 3. 31	BD (d) 型土壌におけるスギの成長と他の樹種との成長比較の研修

6. 受託出張について

用 務	用 務 先	依 頼 者	出 張 者
昭和43年度前期林業改良指導員研修会	滋賀県愛知郡愛東村上岸本	滋賀県農林部長	保護部 部長 伊藤 武夫
松くい虫防除剤試験指導試験場	岡山営林署管内	林業薬剤協会会長	〃 昆虫研究室長 小林 富士雄
移築のための候補地選定指導	兵庫県宍粟郡山崎町	兵庫県農林部長	育林部 造林研究室長 早稲田 収 土壌研究室長 河 田 弘
山村振興調査	滋賀県甲賀郡信楽町	山村振興調査会会長	〃 経営研究室長 久田 喜二
表土流亡防止剤試験指導	滋賀県草津市	豊化学工業KK	〃 防災研究室長 遠藤 治郎 防災研究室員 小 林 忠一
松くい虫防除剤試験指導	岡山営林署管内	林業薬剤協会会長	保護部 昆虫研究室員 奥 田 素男
国連 (FAO) 計画による技術研修員の見学旅行指導	長野県下	海外技術協力事業団理事長	育林部 土壌研究室員 吉 岡 二郎
山村振興調査	滋賀県甲賀郡信楽町	山村振興調査会会長	〃 経営研究室長 久田 喜二
松くい虫防除剤試験指導	岡山営林署管内	林業薬剤協会会長	保護部 昆虫研究室長 小林 富士雄
スギ赤枯病、立枯病防除薬剤試験指導	奈良県高取町	〃	〃 樹病研究室長 紺 谷 修治
林業技術調査	鳥取県下	日本林業技術協会会長	育林部 経営研究室長 久田 喜二
造林技術指導	和歌山県古座川町	古座川森林組合長	〃 造林研究室長 早稲田 収
国連 (FAO) 計画による技術研修員の見学旅行指導	岡山県下	海外技術協力事業団理事長	〃 土壌研究室長 河 田 弘
林業技術調査	鳥取県下	日本林業技術協会会長	〃 経営研究室長 久田 喜二

7. 昭和42年度関西支場年報（第9号）発行

昭和43年10月、第9号を発行し、林野庁、営林局署、林業試験研究機関、全国都道府県関係部課、関係大学およびその他の関係機関に配付した。

8. 見学者について

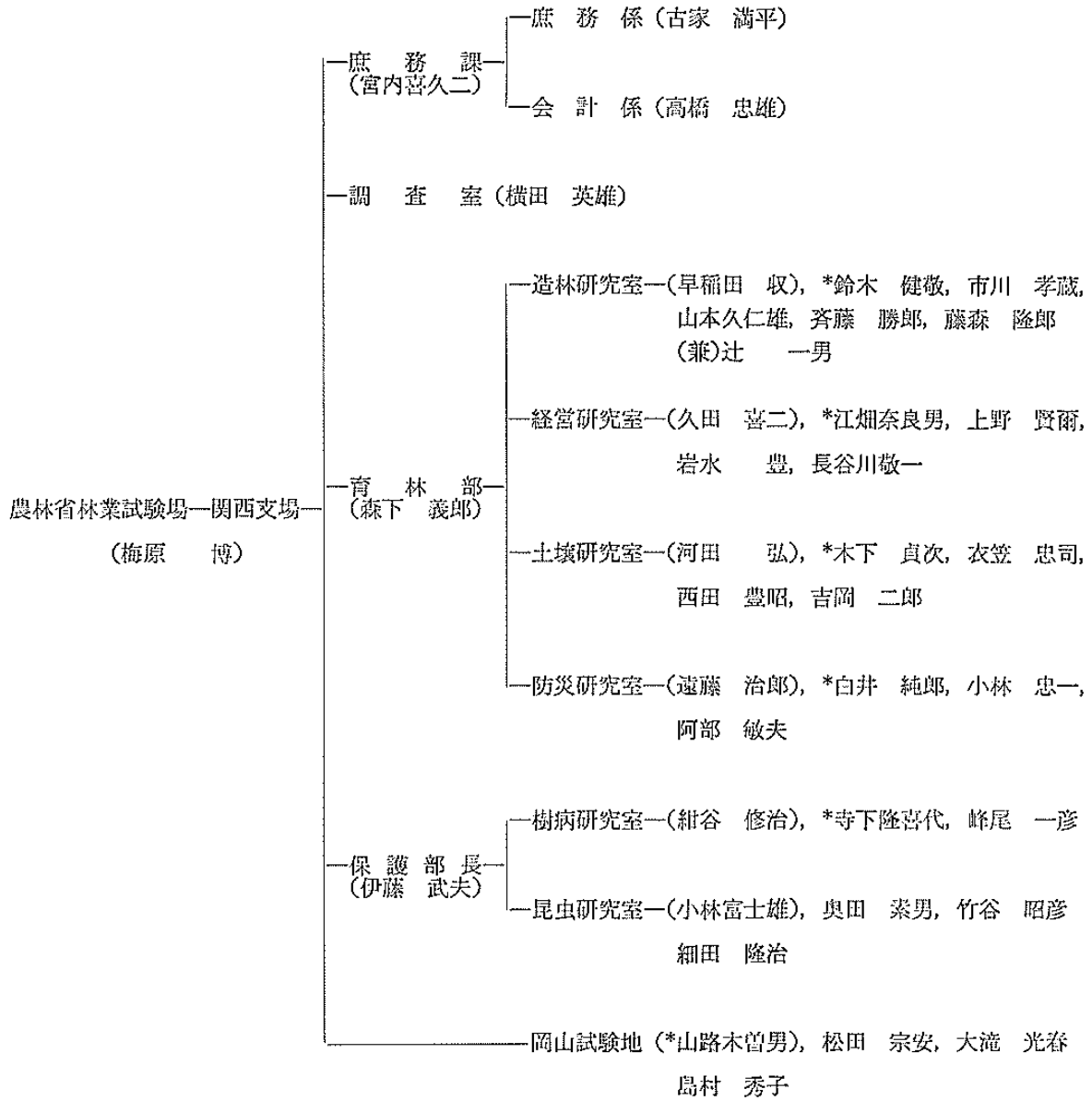
見学者別	人数
学 生	302
森林組合等一般団体	277
そ の 他	170
計	749

9. 人のうごき

43. 4. 1 付	本場総務部会計課長に	平 兮 五 男 (庶務課)
〃	本場防災部庶務係長に	福 貴 満 治 (〃)
〃	庶務課長に	官 内 喜久二 (本場会計課)
〃	庶務課に	酒 谷 正 憲 (〃)
〃	土壌研究室に	西 田 豊 昭 (東北支場)
43. 8.16 付	本場調査室企画科連絡室長に	雨 倉 朝 三 (調査室)
〃	調査室長に	横 田 英 雄 (大阪営林局)
44. 1. 3 付	依願退官	木 村 定 次 (庶務課)
〃	会計係長に	高 橋 忠 雄 (東北支場)
44. 2. 1 付	支場長に	梅 原 博 (〃)
〃	東北支場長に	松 下 規 矩 (育林部)
〃	育林部長に	森 下 義 郎 (東北支場)
〃	主任研究官に	江 畑 奈良男 (関西支場)
〃	〃	木 下 貞 次 (九州支場)
44. 3.19 付	タイ国から帰国	鈴 木 健 敬 (造林研究室)

関西支場の組織

(昭和44年3月31日現在)



* は主任研究官

昭和44年9月1日印刷
昭和44年9月10日発行

発行所 農林省林業試験場関西支場
京都市伏見区桃山町永井久太郎官有地
Tel 611-1201

印刷所 中西印刷株式会社
京都市上京区下立売小川東入
Tel 441-3157

試験位置図

1. 滑山スギ人工林皆伐用材林作業収獲試験地 (経営)
2. 滑山ヒノキ人工林 (経営)
3. 合理的短期育成林業技術の確立に関する研究 (共同)
4. アカマツ保育形式比較試験地 (造林)
5. 西山アカマツ天然林皆伐用材林作業収獲試験地 (経営)
6. クロマツ林地肥培試験地 (土壌)
7. 合理的短期育成林業技術の確立に関する研究 (共同)
8. セケ所山クリ用材林作業収獲試験地 (経営)
9. アカマツ保育形式比較試験地 (造林)
10. 合理的短期育成林業技術の確立に関する研究 (共同)
11. 新重山ヒノキ人工林皆伐用材林作業収獲試験地 (経営)
12. 権谷山スギ人工林皆伐用材林作業収獲試験地 (経営)
13. 迦藤スギ天然林皆伐用材林作業収獲試験地 (経営)
14. 吉永植栽比較試験地 (造林)
15. 水源の理水機能に関する研究 (防災)
16. 瀬戸内地方はげ山の経済的治山工法試験地 (防災)
17. フサアカシヤ本数密度試験地 (造林)
18. スギ林地肥培試験地 (土壌)
19. 岡谷スギ人工林皆伐用材林作業収獲試験地 (経営)
20. スギ林地肥培試験地 (土壌)
21. 合理的短期育成林業技術の確立に関する研究 (共同)
22. ヤマモモ、マツ風の混植試験地 (経営)
23. マツの穿孔虫に関する試験地 (昆虫)
24. フサアカシヤ育種試験地 (造林)
- アカマツ林の施業改善に関する試験地 (造林)
- マツカレハの発生消長調査試験地 (昆虫)
- 六万山スギ人工林皆伐用材林作業収獲試験地 (経営)
- マツカレハ発生消長調査試験地 (昆虫)
- 合理的短期育成林業技術の確立に関する研究 (共同)
- 御弁当谷ヒノキ人工林皆伐用材林作業収獲試験地 (経営)
- ハツ尾山ヒノキ人工林皆伐用材林作業収獲試験地 (経営)
- 林地除草剤試験地 (造林)
- フサアカシヤ育種試験地 (造林)
- アカマツ林の施業改善に関する研究 (造林)
- 奥島山アカマツ天然林皆伐用材林作業収獲試験地 (経営)
- 地獄谷アカマツ天然林皆伐用材林作業収獲試験地 (経営)
- 菩提山アカマツ天然林皆伐用材林作業収獲試験地 (経営)
- 高取山スギ人工林皆伐用材林作業収獲試験地 (経営)
- 高取山ヒノキ人工林皆伐用材林作業収獲試験地 (経営)
- スギ、ヒノキ林地肥培試験地 (土壌)
- 高野山ヒノキ人工林皆伐用材林作業収獲試験地 (経営)
- 高野山スギ人工林皆伐用材林作業収獲試験地 (経営)
- 高野山ヒノキ人工林皆伐用材林作業収獲試験地 (経営)
- 合理的短期育成林業技術の確立に関する研究 (共同)
- 茗荷畑山ヒノキ人工林皆伐用材林作業収獲試験地 (経営)
- 白見山スギ人工林皆伐用材林作業収獲試験地 (経営)

☒	岡西支場
□	岡山試験地
○	植栽試験地
◎	造林関係試験地
◇	森林害虫
▲	林地肥培
⊗	治山関係
×	合類

● 最寄駅名

